

# 本宮市自主的財政健全化計画の 平成22年度実績を報告します

本宮市では、市民の皆さんへのサービスの維持向上を図りながら、借入金に適正な額まで減らし、将来にわたって安定した財政運営ができるように、『本宮市自主的財政健全化計画』を策定し、この計画に基づき財政の健全化に向けた取り組みを行っています。

平成22年度の決算が確定したことから、『本宮市自主的財政健全化計画平成22年度実績』をまとめましたので、その概要をお知らせします。

## 歳入

平成22年度の歳入総額は、計画額約108億3千万円に対し、約130億9千万円の実績額となり、計画額を約22億6千万円上回りました。

これは、地方交付税の収入が計画よりも多かったこと、経済危機対策臨時交付金など国からの支出金が増えたことなどが主な要因です。

## 歳出

平成22年度の歳出額は、計画額約108億3千万円に対し、約123億1千万円の実績額となり、計画額を14億8千万円上回りました。

これは、子ども手当の支給開始による扶助費の増額、財政調整基金などへの積立額が計画よりも増えたことなどが主な要因です。

### 【平成22年度歳入】

区 分	計画額	実績額
地方税 (市民税や固定資産税など)	43億8千万円	40億7千万円
地方譲与税 (国税の一部を地方の財源として配分するもの)	2億4千万円	2億1千万円
各種交付金 (地方消費税交付金など)	4億7千万円	4億1千万円
地方交付税 (市町村の状況により国から地方に分配される交付金)	24億8千万円	31億3千万円
分担金及び負担金	1億8千万円	1億6千万円
使用料及び手数料	1億4千万円	1億5千万円
国・県支出金	17億円	22億5千万円
財産・寄附金・諸収入	2億円	4億2千万円
繰入金	4億8千万円	10億6千万円
繰越金(前年度からの繰越金)	0千万円	2億9千万円
地方債(※1) (市町村が行う長期の借入金)	5億7千万円	9億5千万円
歳入総額	108億3千万円	130億9千万円

※1 地方債には建設事業等の財源として借入れするものや、地方交付税の代替えとして借入れする臨時財政対策債等があります。その内臨時財政対策債の返済には、後年度の地方交付税が財源として充てられます。

### 【平成22年度歳出】

区 分	計画額	実績額
人件費 (職員の給与、議員報酬など)	21億7千万円	21億2千万円
物件費 (消費的性質の経費。需用費や旅費など)	11億8千万円	13億9千万円
維持補修費 (道路や建物の修繕費など)	6千万円	1億6千万円
扶助費 (生活保護費や子ども手当などの給付金)	8億1千万円	12億6千万円
補助費等 (補助金、報償費など)	22億7千万円	18億3千万円
公債費 (地方債の元利償還金など)	11億6千万円	11億2千万円
積立金 (財政調整基金などの貯金)	2億7千万円	9億8千万円
投資及び出資金・貸付金	9千万円	8千万円
繰出金 (特別会計への支出金など)	14億4千万円	19億1千万円
投資的経費 (道路、橋、公園など社会資本の整備に要する経費)	13億9千万円	14億6千万円
歳出総額	108億3千万円	123億1千万円

### 【形式収支(歳入と歳出の差額)】

区 分	計画額	実績額
歳入	108億3千万円	130億9千万円
歳出	108億3千万円	123億1千万円
形式収支	0千万円	7億8千万円

形式収支（歳入と歳出の差額）

形式収支の実績は、約7億8千万円でしたが、その中には平成23年度執行予定分（東日本大震災の影響などにより翌年度に繰り越された事業分）が含まれています。

財政健全化指標の状況

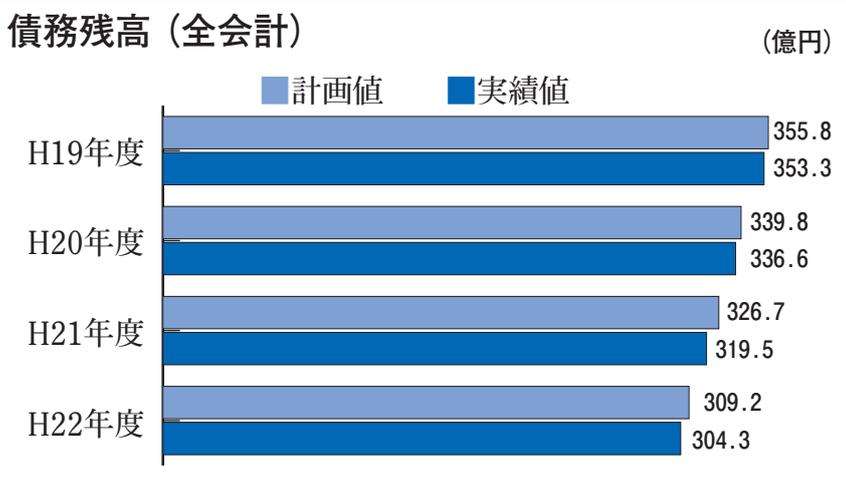
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、財政の健全度を判断する指標を定めています。本宮市ではいずれの指標も「財政再生団体」や「早期健全団体」の基準を超えてはいません。

健全化計画では、判断指標のうち「実質公債費比率（※2）」について計画値を定めており、平成22年度の決算により算出された比率は、計画値19・8%に対し、18・3%の実績となり、計画よりも財政の状況がやや改善されています。しかし、適正值とされる「18%未満」よりもまだ高い比率なので、今後も借入の抑制に努めるなど健全財政に向けた取組みを継続します。

※2 実質公債費比率：毎年度の経常的な収入に対する借入金返済金の割合。

債務（借金）残高の状況

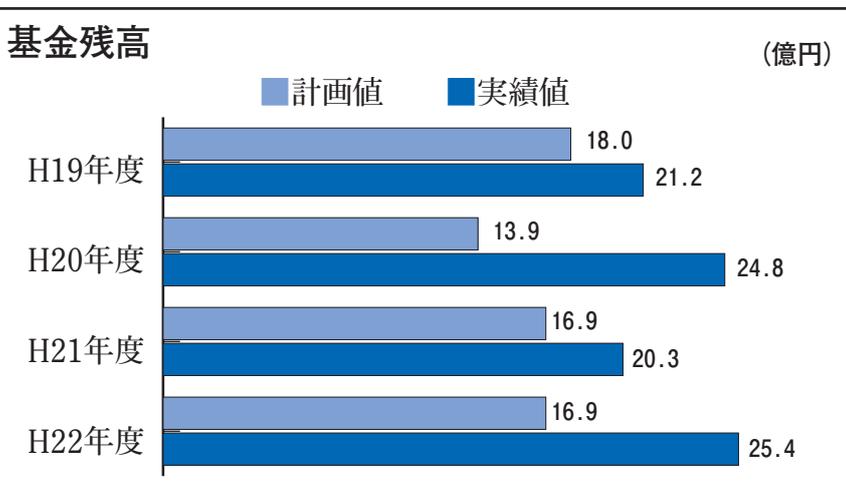
平成22年度末の市の債務残高の合計は、計画額約309億2千万円に対し、新たな借入の抑制に努めたことなどから、約304億3千万円の実績となり、計画よりも約4億9千万円低減されました。



※ 地方債（市債）と債務負担行為の合計額。地方債は元金債務負担行為は元利金となっています。

基金（貯金）残高の状況

平成22年度末の市の基金（貯金）残高は、計画額約16億9千万円に対し、実績額は約25億4千万円でした。その内、財政調整基金（※3）は、計画額を約4億円上回りました。これは、地方交付税が計画よりも多く交付されたことなどから、取り崩す額が減り、予定よりも多く積み立てることが可能となったためです。



※3 財政調整基金…年度間の財源の不均衡を調整するための基金。財源に余裕がある年度に積立し、財源不足の年度に取り崩して活用します。

「本宮市自主的財政健全化計画 平成22年度実績」の詳細内容は、本宮市のホームページ上で公開しています。